

自治会の新事情 ～昔はこうだったけど…～

昔と今の自治会の事情を比べ、変わったこと変わらないことがあることに気付くとともに、ワークをとおして、各世帯がどのように関わっていけばよいか考える。

目安時間	60分	手法	ディスカッション、ラベルワーク
準備するもの	付せん紙、ワークシート、資料（自治会の今昔版）、模造紙		
想定する学習機会	自治会長や公民館長が集う会議、育成会、PTA研修		

ワーク1 昔と今の自治会の事情について、意見を出し合う（15分）

①自治会の加入率・活動参加の状況を知る。

- ・参加者の自治会加入状況を確認する。
- ・自治会の加入率を予想してもらった後、資料1を配布し、現状について説明する。

★資料1 自治会の加入率の変化・自治会活動への参加頻度

声かけ例

- ・現在、自治会に加入している方は挙手してください。
- ・現在の自治会の加入率はどのくらいか予想してください。

②今と昔の自治会の様子をワークシートに書き出し、グループで話し合う。

ワーク2 資料を読み、自治会への関わり方を考える（13分）

資料2を読んで感想を出し合う。

★資料2 自治会に入らない理由・自治会のメリット

声かけ例1

- ・ワーク1を含め、自治会の様子が変わってきていますが、どう思いますか。

引き出したい意見

- ・子どもたちのためには、あったほうが良いと思う。
- ・共働きの多いので参加できないのは仕方ないと思う。
- ・いざというときのために、あったほうが良いと思う。

ワーク3 自治会において、昔も今も変わらないことは何か考える（27分）

自治会の守っていききたいところ、変えていききたいところを話し合う。

- ①守っていききたいところ、変えていききたいところをそれぞれ色別の付せん紙に記入する。
- ②それぞれが考えたこと（付せん紙）を発表し、模造紙に貼る。
- ③似たような意見をまとめ、見出しを付ける。
- ④全体で共有する。

まとめ・ふりかえり等（5分）

★資料3 コラム「みんながよりよく生きる時代」→「自分がうまく生きる時代」を読み、今後、自分は自治会にどう関わっていききたいか考える。

- 自治体にどう関わっていけばよいか、自分の考えをもつことができたか。